

南高図書館だより

2026年2月号
浦和南高校図書館

図書委員のおすすめ本



『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』

汐見夏衛／著 スターツ出版(スタートズ出版文庫)

このお話は中学2年生の百合が家出をきっかけに70年前の戦争中の日本にタイムスリップするところから始まります。その世界で百合は特攻隊員である彰に恋心を抱くというストーリーです。残酷な戦時下の日本の様子と甘酸っぱい恋愛模様が私たちに物語を引き込みます。戦争という題材に恋愛をプラスすることで、戦争を経験していない私たちにも読みやすく、尚且つ戦争はあってはならないということを再認識させられる作品です。

『穢れた聖地巡礼について』

背筋／著 KADOKAWA

心霊系ライターの小林は心霊系 YouTuber のチャンイケこと池田のファンブックをつくらないかとオファーした。しかし池田は霊の存在を否定した。そこで二人は小林の知り合いである霊能一家の宝条の力を借りつつやらせをすることにした。しかし、取材を進めていくうちに池田は霊に恐怖を感じ始める。その裏にはある出来事が隠れていた。さらに小林、宝条の恐ろしい一面が明らかになる…。



じわじわと背中がゾクゾクしてくるお話で夏にぴったりです！ ぜひ読んでみてください。



『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ／著 中央公論新社

主人公は過去に失敗してしまい、誰にもわからないような田舎に住んでいました。そんな時に一人の少年に出会いました。なんと名前は「ムシ」。そんな可哀想な家庭環境の子を救うために主人公がもう一度立ち上がる物語です。私は改装してくれる中村と主人公貴瑚の絡みが大好きです。ぜひ読んでみてください！

図書館からのお知らせ

埼玉県的高校図書館司書が選んだイチオシ本 2025

「埼玉県的高校図書館司書が選んだイチオシ本2025」が2月13日(金)に発表されました。図書館でもイチオシ本を展示中。ベスト10※に選ばれた書籍を、作家さん等のコメントが入ったPOPとともに展示しています。貸出中の本は予約もできます。



サイトも
見てね！

1位	『僕には鳥の言葉がわかる』	鈴木俊貴 著	小学館
2位	『本が読めない 33歳が 国語の教科書を読む』	かまど 著、 みくのしん 著	大和書房
3位	『僕たちの青春はちょっとだけ特別』	雨井湖音 著	東京創元社
4位	『それいけ！平安部』	宮島未奈 著	小学館
5位	『お悩み相談そんなこともアラナーナ』	ヨシタケシンスケ著	白泉社
6位	『17歳のときに知りたかった 受験のこと、人生のこと。』	びーやま 著、 高田ふーみん 協力	ダイヤモンド社
7位	『半分姉弟(1)』	藤見よこ 著	リイド社
8位	『涙の箱』	ハン・ガン 作、 きむふな 訳	評論社
8位	『イン・ザ・メガチャーチ』	朝井リヨウ 著	日経BP 日本経済 新聞出版

※今年度は同率10位となった作品が4タイトルあったため、「ベスト10」として発表するのは8位までの9冊になっています。

蔵書点検(3/6, 9, 10, 11)のお知らせ

蔵書点検は、所蔵している本が行方不明になっていないか、所定の位置にあるかどうかを調べる、図書館の業務です。「蔵点(ぞうてん)」と略して呼ぶこともあります。実施することで、本は所定の場所に配架され、利用する人が見つけやすくなります。

蔵書点検期間中(3/6(金)、9(月)、10(火)、11(水))は、図書館は休館です。



知識の本

なぜ人は締め切りを守れないのか

難波優輝／著 堀之内出版

ときに人々を苦しめ、ときに人々を奮立たせる「締め切り」とは何なのか？「締め切り」から現代社会に深く埋め込まれたルールを描き出し、豊かな生き方を探る哲学的冒険。

せかたびオーストラリア

JTBパブリッシング

オーストラリアのケアンズ、グレート・バリア・リーフ、シドニー、メルボルンなどをガイド。モデルコースも掲載する。折込みのイラストマップ付き。データ：2025年8～11月現在。

外国人のあたりまえ図鑑 イッツNotアスモールワールド！

南龍太／著 WAVE出版

ミャンマー人はあいさつしない？ イラン人の舌打ちに悪意はない？ 日本と関係が深い43の国・地域にまつわる「？」についてリアルな情報を収集。ステレオタイプな見方から抜け出すために知っておきたいことを紹介する。

クマなく伝えたいホッキョクグマのすべて

坪田敏男／著 鳥居佳子／著 実業之日本社

氷の王者でありながら絶滅危機に瀕すホッキョクグマ。真実を確かめに飼育員とクマ研究者が聖地カナダへ！野生の生態調査、飼育の日々、カナダでの研究者インタビュー等を収録。日本全国のホッキョクグマもカラー写真で紹介。

どうだ！埼玉うどん伝説！！ いますぐ食べたい49軒129品

永谷晶久／著 大空出版

武蔵野うどん、川幅うどん、おつきりこみ、すったて…。うどん文化が根づく埼玉には、多彩なご当地うどんがあった！県内5エリアから、今すぐに食べに行きたくなる44店舗を厳選紹介。県外の武蔵野うどん店なども掲載する。

死ぬまでに観に行きたい世界の超絶美術を1冊でめぐる旅

山上やすお／著 ダイアモンド社

世界と日本の美術館で憧れの名画を観る感動体験を味わえる本。美術専門・海外旅行添乗員が、ミュシャ美術館「花四部作」、パリ・オペラ座「夢の花束」、京都国立博物館「果蔬涅槃図」等を会話形式で楽しくガイドする。

22文字で、ふつうの「ちくわ」をトレンドにしてください

武政秀明／著 サンマーク出版

「あなたのための言葉」として気づいてもらうための方法、「わからない」を「わかる」に変える方法、短い言葉でもインパクトを残せる言葉の基本…。一瞬で心をつかむ「言葉」のコツを伝授。

女の子は本当にピンクが好きなのか

文庫コーナー

堀越英美／著 河出書房新社(河出文庫)

「女の子といえばピンク」という思い込みは、どのように生まれてきたのか？〈ピンク〉という色の持つ社会的意味の変遷を辿る。

小説・文学

本の話はどこまでも 青山美智子さんが答える33の質問

青山美智子／語り手 根津香菜子／聞き手 朝日新聞出版

デビューのきっかけ、小説執筆のモットー、装丁へのこだわり、本屋大賞への思い、図書館の思い出、本から得たもの…。『木曜日にはココアを』『お探し物は図書室まで』などの作品で知られる作家・青山美智子が33の質問に答えながら、熱すぎる本への思いを語り尽くす。

神の蝶、舞う果て

上橋菜穂子／著 講談社

聖域(闇の大井戸)で、魔物から聖なる蝶を守る役目を負って暮らしている降魔士(カタゼリム)の少年・ジェード。ある日、相棒の少女・ルクランが、〈予兆の鬼火〉に触れる事件が起きる。カタゼリムの中でルクランだけが反応する〈予兆の鬼火〉。なぜ自分だけなのか知りたいルクランと、彼女を守りたいジェード。しかし、地方で歌い継がれてきた呪い歌のとおり起こった災厄と、聖域を巡る神官の対立に、二人は否応なく巻き込まれていく。

お梅は呪いたい

文庫コーナー

藤崎翔／著 祥伝社(祥伝社文庫)

戦国大名を滅亡させた呪いの日本人形・お梅が目覚めた。興味本位の底辺ユーチューバーに引き取られたお梅は、彼を呪い殺そうとするが、500年のブランクは長すぎて、呪いが効かないどころか、心霊動画がバズってしまい…。果たして、お梅の願いは叶うのか？続編の、新たに習得した能力で人間を呪おうと意気込む『お梅は次こそ呪いたい』・ハッピー魔法少女人形を利用して現代人を呪い殺そうと奮闘する『お梅は魔法少女ごと呪いたい』も新しく入っています。

返し忘れの本、ありませんか？

もうすぐ年度末です。

返却期限が過ぎたまま 返し忘れていた本は

ありませんか。

心当たりのある人は きちんと返却して

気持ちよく春休みを迎えましょう！